



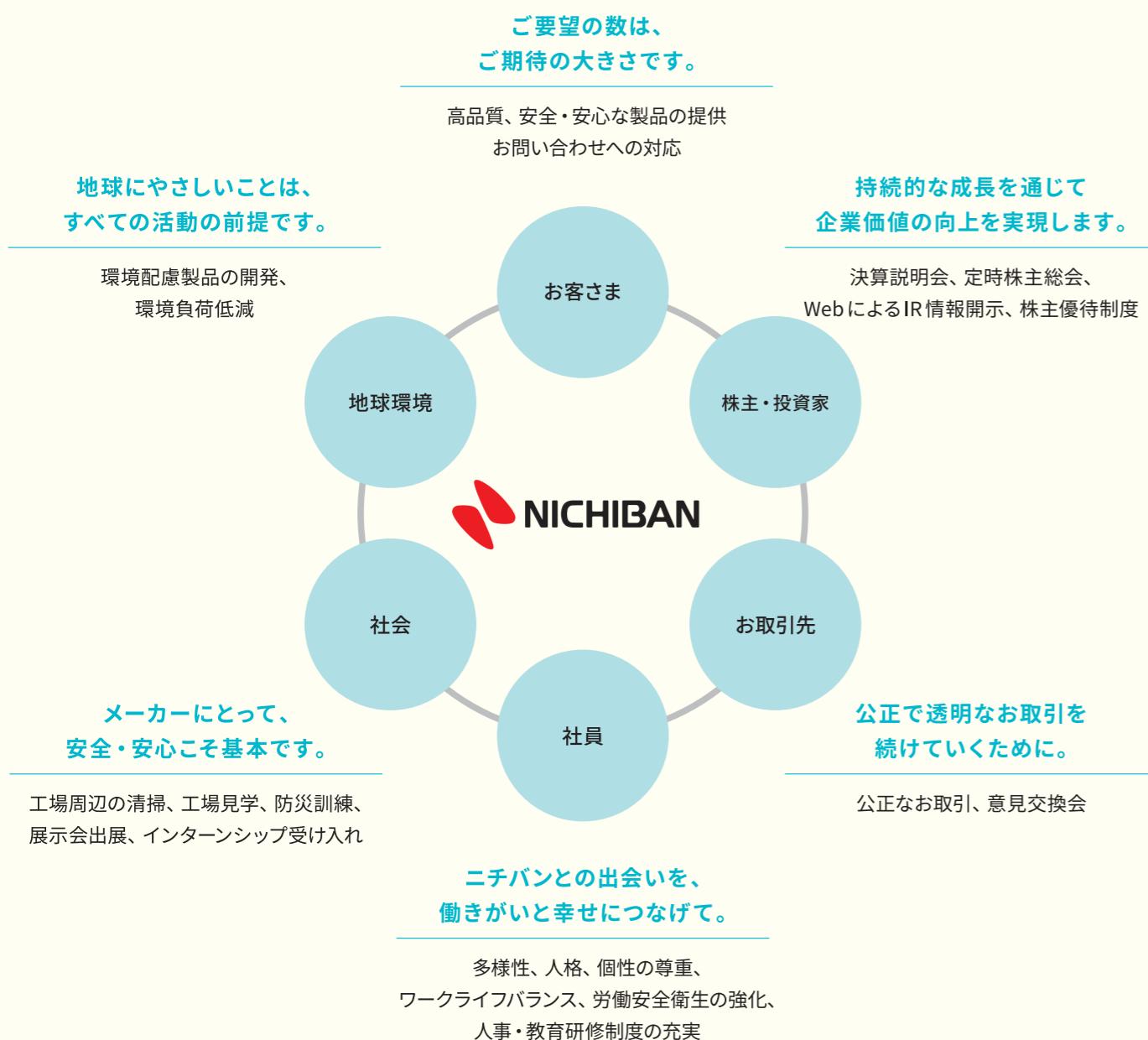
ニチバン  
社会・環境報告書

**2016**

**NICHIBAN**  
Social and  
Environmental  
Report

# ステークホルダーの皆さまとの “関係”を大切にしながら、 企業活動を続けていきます。

1918年の創業以来、さまざまなステークホルダーの皆さんに支えられて、今日の私たちが成り立っています。  
これからも、企業活動を通じて皆さんに信頼され期待される企業を目指します。



NICHIBAN

## ニチバンの理念

### 創業の精神

私たちは、「和親協力・進取向上」を「創業の精神」として継承します。

### 基本理念

私たちは、常に社会に役立つ価値を創出し時代を拓き、ニチバンにかかわるすべての人々の幸せを実現します。

### 事業領域

粘着の分野を原点として新たな領域に挑戦し、常に世界に経営資源を求め、人々の快適な生活をトータルに支え続けます。

### 経営姿勢

“ベクトルC”の経営を実践します。



## 行動指針 (アタック21)

Flexible	Attitude	時代を見つめて	常に柔軟な発想を
Ambitious	Target	自らにチャレンジして	常に高い目標を
Quick	Action	迅速な意思決定で	常に素早い行動を
And	Check	管理を怠らず	常に結果の見直しを

## CONTENTS

ステークホルダーとのかかわり 01

ニチバンの理念／行動指針 02

編集方針 02

中長期経営計画【NB100】 03

会社概要 04

トップメッセージ 05-06

特集  
製品の価値を正しく伝える  
多様なコミュニケーション 07-08

社会性報告  
お客さまともに  
社員とともに  
社会とともに 09-10  
11-12  
13-15

経営とマネジメント 16

環境負荷低減の取り組み 17-18

編集方針  
本報告書は、ニチバングループの活動の結果をご報告し、より多くの方々にニチバンの事業活動を知っていただくことを目的に発行しています。

報告対象組織  
ニチバン株式会社  
ニチバンプリント株式会社  
ニチバンテクノ株式会社  
ニチバンメディカル株式会社

報告対象期間  
2015年度（2015年4月1日から2016年3月31日まで）の活動を中心に、それ以前からの取り組みや、直近の報告も含んでいます。

報告対象分野  
環境・社会・経済的側面  
参考にしたガイドライン  
環境省  
『環境報告ガイドライン（2012年版）』

発行  
2016年9月

## 創業100周年に向けて 【NB100】を推進しています。

当社グループは、2011年度より8カ年にわたる中長期経営計画【NB100】を推進中です。

【NB100】では、ニチバンの理念のもと、社会から「信頼され期待される企業」となることをビジョンとして掲げています。「企業品質向上」「基盤効率化・安定化」「成長追求」を戦略フレームとして、創業100周年を迎える2018年度までに「メディカル事業比率40%以上」「海外売上比率10%以上」を達成し、「連結売上高500億円」を目指します。

2015年度は中盤3カ年計画“Stage2”最終年度として、「企業ブランド向上」と「収益性基盤の確立」を確かなものとさせるとともに、【NB100】の総仕上げとなる3カ年計画“Stage3”に向けた新たな成長戦略として「大型開発品の創出」「大型設備投資の着手」「海外新規市場の開拓」に積極的に取り組んでまいりました。

### 【NB100】ビジョン



### 【NB100】戦略フレーム



### 2015年度事業ハイライト

#### 2015年

- 4月 **企業活動** サッカー・スペインリーグの名門クラブ「FCバルセロナ」とのパートナーシップ契約締結
- 5月 **IR活動** 平成27年3月期(第111期)決算発表  
**企業活動** 「内部統制システムの整備に関する基本方針」を一部改定
- 6月 **IR活動** 第111回定時株主総会開催
- 7月 **新製品** ステーショナリーブランド「Petit joie™ (プチジョア™)」から、こすると香る「アロマふせん」発売
- 8月 **新製品** コンパクトサイズでカラフルな「布粘着テープコンパル™」発売
- 9月 **新製品** ステーショナリーブランド「Petit joie™ (プチジョア™)」から、バステルカラーの「テープカッター」、メタリックに輝くデコレーション用テープ「メタリックテープ」発売  
**新製品** 快適な貼り心地の絆創膏「ケアリーヴ™ キャラクター プラレールII」発売
- 11月 **IR活動** 平成28年3月期(第112期)第2四半期決算発表

#### 2016年

- 1月 **企業活動** 日本サッカー協会の新規プロジェクト「JFA Youth & Development Programme」にオフィシャルサポーターとして参画
- 2月 **新製品** ステーショナリーブランド「Petit joie™ (プチジョア™)」から「ラベルシール」発売
- 3月 **新製品** ぶどうの新梢、きゅうりの誘引作業に、粘着テープのみで結束できる誘引結束システム「とめたつ™」発売  
**新製品** 帝王切開などの外科手術後の傷あとケア専用テープ「アトファイン™」発売  
**新製品** 透明フィルムで目立たない治癒促進絆創膏「ケアリーヴ™ 治す力™ 防水タイプ」発売
- 新製品 キッチン雑貨ブランド「Dear Kitchen™」シリーズから、熱、水、サビに強い補修用テープ「アルミテープ」発売

### Company Profile 会社概要 (2016年3月31日現在)

商号 ニチバン株式会社

創業 1918(大正7)年1月

本社所在地 〒112-8663 東京都文京区関口二丁目3番3号  
TEL.03-5978-5601

代表者 代表取締役社長 堀田直人

資本金 5,451百万円

売上高 42,461百万円(連結)

従業員数 1,180名(連結)

株主数 3,936名

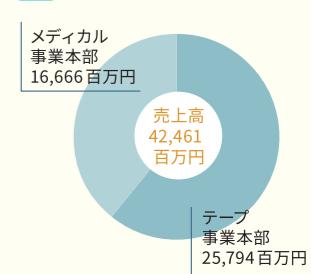
グループ会社  
ニチバンプリント株式会社  
ニチバンテクノ株式会社  
ニチバンメディカル株式会社

関連会社  
国内1社、国外1社  
(株式会社飯洋化工、  
UNION THAI-NICHIBAN CO., LTD.)

#### 売上高(連結)



#### 事業区分別売上高(連結)



#### 従業員数(連結)



### 事業所・国内グループ会社

- 本社
- オフィス
- 工場
- 研究所
- グループ会社



ニチバンにかかわるすべての人々に  
信頼され期待される「100年企業」  
として歩みを進めてまいります。

堀田 直人 ニチバン株式会社 代表取締役社長

当社は1918年、絆創膏や軟膏等を製造する「歌橋製薬所」として創業しました。戦前から戦後、そして現在に至るまで創業の精神である「和親協力・進取向上」のもと、幾多の苦難を経ながら今日のニチバンへと成長してきました。

私たちは、皆さまの健康で快適な暮らしに役立つ製品やサービスを提供し、新しい価値を作り出すことで「ニチバンにかかわるすべての人々の幸せを実現」することを基本理念としています。長年培ってきた“粘着”の技術と経験を受け継ぎ、社会の変化に対応した新たな価値を持った製品をお届けしてまいります。そして、社員にとって働きがいのある会社となることで社員自身の幸せを実現し、幸せの輪をステークホルダーの皆さんへと広げ、社会に貢献していきたいと考えています。

創業100周年を迎える2018年に向けて、当社グループは中長期経営計画【NB100】を推進しています。【NB100】ではニチバンの基本理念のもと、確固たる経営基盤を構築し、将来の成長に向けた取り組みに注力して「信頼され期待される企業」を実現するというビジョンを掲げています。ビジョン実現のために重点課題を確実に遂行するとともに、創業100周年、そしてその先における「さらなる成長に向けた取り組み」を推進していきます。

ステークホルダーの皆さんにおかれましては、今後とも一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



社会の健全な発展に支えられた  
企業市民として、社会的責任を果たし  
社会貢献活動を進化させていきます。

酒井 寛規 ニチバン株式会社 常務取締役 CSR・経営統括担当

今年度より創業100周年に向けた中長期経営計画【NB100】の最終段階であるStage 3がスタートします。私たちはその中で「500億企業としての企業品質確立」を最重点課題のひとつとして掲げ、コーポレート・ガバナンスの強化、世界に通用する人財育成に注力し、誠実で公正な事業活動を通じて社会的責任を果たしてまいります。

また、ニチバンが長年事業を継続することができたのは、企業の存続基盤である社会の健全な発展に支えられてきたおかげでもあります。私たちは事業の特色を活かし、本誌でもご報告する「巻心ECOプロジェクト」のような企業市民として息の長い活動をする中で、「ありがとうをしっかりと伝えよう」をコンセプトとした小学校への出前授業のように活動をしっかり進化させながら、社会に貢献してまいります。

本報告書はステークホルダーの皆さんとのコミュニケーションツールとして位置づけています。皆さんより、忌憚のないご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。



### ニチバンの倫理

#### 基本方針

私たちは、「企業は社会の公器」であることを認識し、  
行動指針に基づく活動を通じて、社会的責任を果たしてまいります。

#### 行動指針

1. 法令等の遵守 ..... 私たちは、法を守り社会規範に従い、公正で透明な企業活動を行います。
2. 有用・安全・安心な製品の提供 ..... 私たちは、「品質・安全・環境への最大限の配慮」を第一義とし、当社製品を通じ「顧客満足の向上をはかる」ことにより、お客様からの信頼を高め、社会に貢献します。
3. 反社会的行為への断固たる対応 ..... 私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的行為には、毅然として対応します。
4. 情報管理と開示の徹底 ..... 私たちは、ニチバンにかかわる全ての情報の適正な管理・保護ならびに企業情報の適時・適切な開示を行います。
5. 当社倫理の徹底 ..... 経営者は、この『ニチバンの倫理』の精神に則り、率先垂範で社内体制を整備し広く周知徹底します。

## 製品の価値を正しく伝える 多様なコミュニケーション

製品の効果を十分に実感していただくためには、製品を正しく使っていただくことが不可欠です。

ユーザーの皆さんに製品を安心安全にご使用いただき、その価値を伝えるためにニチバンはさまざまなコミュニケーションに取り組んでいます。

### Webコミュニケーション

#### Webならではのコンテンツで、テーピングをより簡単にわかりやすく解説

「battlewin.com(バトルウインドットコム)」は、スポーツテーピング・メディカル情報の総合サイトです。ユーザーの方が自分でもテーピングを巻けるように、動画コンテンツなどでわかりやすく紹介しています。



### 担当者コメント

「テーピングは難しい」という先入観を払拭し多くのユーザーに効果を実感してもらいたい

メディカル事業本部  
植野 恭平



製品パッケージにもバトルウインドットコムのQRコードを掲載。スポーツ中にスマートフォンで簡単にテーピングの巻き方を見ることができます。

こちらの  
QRコードから  
アクセスできます。



**セルフ  
テーピング動画**  
「自分で巻ける! セルフトapeing」  
「一人で簡単に」テーピングを巻くための動画コンテンツです。(財)日本体育協会公認アスレティックトレーナー・野田哲由氏監修のもと、部位別の巻き方を動画で紹介しており、重要なポイントは静止画でわかりやすく解説。

**360°VIEW**  
テーピングの基礎的な巻き方を、360°どのアングルからでも見ることができるコンテンツです。部分的に拡大して見ることもできるため、テープが複雑に重なり合っている箇所も詳細に確認できます。

**その他  
コンテンツも充実**  
部位別・スポーツ別にテーピングテクニックを検索することができ、症状の軽減から予防まで多岐にわたって紹介。日本代表チームのトレーナーなど第一線で活躍される方々へのインタビュー記事もあり、バラエティ豊かなコンテンツ構成となっています。

### スポーツの現場でのコミュニケーション

#### テーピングを通じて、幅広い年代のスポーツライフをサポート

スポーツテーピングは競技中の不安を取り除き、怪我を予防するものですが、巻き方には注意が必要です。ニチバンは、

正しいテーピングの巻き方を習得する機会の提供を通じて、幅広い年代のスポーツライフをサポートしています。



#### テーピング セミナー

ニチバンは、専門家のレクチャーによって、正しいスポーツテーピングを習得できるテーピングセミナーを主催しています。国際大会への帯同経験もあるトレーナーが講師を務め、コースが基本編と応用編に分かれているため、学生から医療従事者の方まで、自分のレベルに合わせてテープを学ぶことができます。

#### 担当者コメント

ジュニアからシニアまで  
日本全国のユーザーに  
正しいテーピングの  
巻き方を伝えていきたい



メディカル  
事業本部  
平林 大輔

テーピングセミナーは、東京と大阪を中心に年間20回ほど開催しています。参加者は、部活のマネージャーや養護教諭、保護者、医療従事者などさまざまです。また、JYD主催の試合などでテーピング体験ブースも出展しています。以前、シニア世代のサッカー大会で、選手の方から「ニチバンのテーピングがあるから楽しくサッカーができたよ」との声をいただきました。こうした声が今後の活動の励みになります。



#### JFA Youth & Development Programme

2016年1月からJFAによる新規プロジェクト「JFA Youth & Development Programme(以下、JYD)」に参画し、サッカーの普及や選手の育成を支援しています。各年代の国内大会でテーピングや救急絆創膏を供給しているほか、選手や指導者・保護者向けにセルフトapeing体験ブースを出展したり、テーピングや応急処置のセミナーを実施しています。

#### 担当者コメント

2050年、1,000万人の  
サッカーファミリーに  
怪我の不安なくスポーツを  
楽しんでもらうために



メディカル  
事業本部  
花村 徹

今回、2050年までにサッカーファミリー(サッカーに携わる人口)1,000万人を目指すJFAの長期ビジョンに賛同し、JYDに参画しました。いま、日本のスポーツ人口は減少傾向にありますが、長く競技を続けていくためには怪我の予防と再発防止が不可欠です。その点で、テーピングは非常に重要な役割を担うと考えています。JYDを通じて怪我への不安を取り除くことで、スポーツを楽しむ人の増加に貢献したいです。

### 医療現場でのコミュニケーション

#### 製品の正しく安全な使用に向けた取り組み



医療従事者、そして治療を受ける方に製品の正しい使い方をわかりやすくお伝えするために、さまざまなコミュニケーションを展開しています。



『アトファイン™』パンフレット  
(医療従事者向け)  
帝王切開の手術後の「傷あとケア」の必要性と実態を説明した上で、アトファイン™の特長や性能をデータを用いて紹介。使用方法もイラストで分かりやすく解説しています。



『帝王切開の基礎知識』  
(出産予定の女性向け)  
出産予定の女性が知っておくべき基礎知識を紹介。帝王切開への不安の軽減と術後の「傷あとケア」について知ってもらうことを目的としています。



『さわって実感できる貼り見本帳』  
医療用テープの用途や特性を一覧できる見本帳です。実際の製品サンプルが貼ってあり、質感などを触って確かめられます。

#### 担当者コメント

メディカル事業本部  
学術センター  
堀江 圭  
「患者さんのために」という思いと行動が  
製品の価値に  
つながっていきます



正しい使い方で効果を実感していただいて初めて製品の価値が生まれると考えています。医療用テープには正しい貼り方・はがし方があり、誤ったはがし方は、スキンテア(皮膚の裂傷)の原因となります。ニチバンでは、医療従事者向けにテープの選び方や貼り方に関するガイドブックを作成、病院内で勉強会も開催しています。今年発行したDVDも好評です。また、今年発売のアトファイン™は、帝王切開後の「傷あとケア」という新しいコンセプトの製品だったため、医療従事者向けと出産予定の女性向けにパンフレットを作成しました。今後も「患者さんのために」という軸からぶれずに製品の価値を伝えていきます。

製品を通して、  
お客さまと信頼関係を築きます。

テープ事業

誘引結束システム **とめたつ™**

農業従事者の作業負担を軽減

ぶどうやきゅうりの栽培では陽光が均等に当たるよう、枝やつるを棚やネットにくくりつける「誘引作業」が行われます。1本ずつ固定が必要で、特にぶどうは頭上の棚に誘引するので両腕を上げての長時間作業となり、作業者に大きな負荷がかかります。「とめたつ™」は、こうした作業の負担軽減のために開発した誘引結束システムです。テープのみで結束するため針などの金属が農作物に混入する心配もなく、機器本体を軽量化してグリップの握りを軽くし、女性や高齢者にも扱いやすきました。専用の粘着テープは結束物には付着せず、粘着面同士を圧着したときだけ強固に粘着し、収穫時期には適度に粘着力が弱まる仕様なので後作業にも適しています。今後も農業従事者の声に耳を傾け、ラインナップの拡充を図っていきます。



担当者コメント

テープ事業本部  
テープ開発部  
**更木 恒雄**

以前から構想のあった誘引結束システムは2006年に本格検討を開始、2013年には試販を実施しました。しかし栽培現場の情報が不十分だったため、思うような結果が出ませんでした。この反省から設計部署とともに各地のぶどう畠を訪れ、生産者の皆さんとの話を聞きながら改善に取り組みました。特に注力したのは使い勝手の向上で「軽い、テープの交換回数が少ない」という製品特長を体感いただけるようさまざまな箇所を改善しています。現場に赴き、現物を見て、現実を知る重要性を改めて実感しました。



メディカル事業

傷あとケアテープ **アトファイン™**

術後の傷あとケアをテープ1枚で

「アトファイン™」は外科手術後の傷あとを保護する専用ケアテープです。傷口が閉じた直後から傷あとに直接貼ることで、皮膚の引っ張りや衣服による摩擦、紫外線などの外部刺激から保護します。これにより炎症やかゆみ、ひきつれの発生を低減でき、傷あとが肥厚性瘢痕（ひこうせいはんこん）やケロイドになることを防ぎます。開発のコンセプトは「誰でも簡単にケアを続けられる」製品です。1枚テープを貼るだけなので、手間がかかる、長期のケアも無理なく可能になります。内視鏡手術から帝王切開まで、傷あとの大さにあわせた3サイズをラインナップしています。まだ傷あととのケア方法を知らない方は多いため、一人でも多くの人に伝えて傷あとに悩む患者さんを減らしていくたいと考えています。



担当者コメント

メディカル事業本部  
メディカル開発部  
**竹崎 彰人**

帝王切開経験者の体験談などから傷あとケアに着目しました。調査してみると、傷あとは気にしつつもケアをしていない人が多く、簡単にケアを続けられる製品の必要性を感じました。開発段階では産科医や助産師、帝王切開患者の皆さんに直接お会いして話を聞きました。協力してもらえることが現場のニーズだと捉え、開発に意欲が持てました。本製品を通して医療機関、そして患者さんに傷あととのケア方法を伝えていくとともに、今後も現場の声を重視し医療現場に貢献する製品を開発していきます。



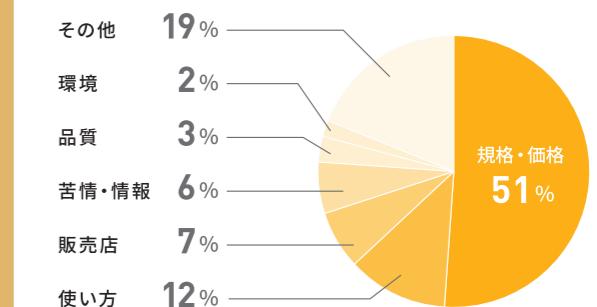
お客様相談室報告

お客さまの「声」を活かす仕組み

ニチバンお客様相談室では、日頃からニチバン製品を使用いただいているお客さまをはじめ、販売店さま、卸業者さまなどからの製品に対するお問い合わせやご指摘などをお受けしています。お客さまから寄せられた貴重なご意見、ご要望等は、関連する部署へフィードバックし、製品開発や改善に利用させていただいているいます。

2015年度お客様相談室  
お問い合わせ件数

**19,822**  
件

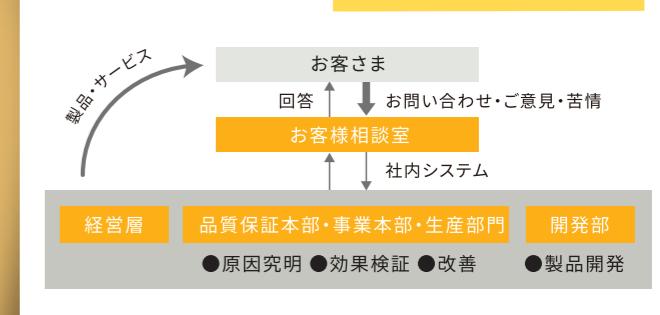


※「その他」には、資料送付、修理などが含まれます。

お客様相談室

ご意見・お問い合わせはこちらで承っております。  
Tel.0120-377218 Fax.03-5978-5640  
ウェブサイトではご意見のみ承っております。  
<http://www.nichiban.co.jp/support/>  
※お電話の受付時間は土・日・祝日を除く9:00～12:00、  
13:00～17:00とさせていただいております。

お客様相談室のしくみ



社員がいきいきと働ける  
職場づくりをすすめています。

### メンタルヘルス対策の推進

ニチバンでは、社員のストレスの状況を把握するため、2009年よりストレスチェックテストを年一回実施しています。2015年12月からのストレスチェックテスト義務化にも対応しています。

社員一人ひとりが自分のストレスの状況に気づき、個人の状態にあったe-ラーニングの提供を通じて心の健康に配慮できるよう取り組みを行っています。

またストレスチェックテストの結果を受けて組織全体の傾向を把握し、職場の環境改善につながる取り組みを推進しています。事業所ごとの産業保健体制の充実を図り、事業所での相談対応、管理職を中心としたラインケア教育の実施など、それぞれの職場に応じたメンタルヘルス体制の構築を図っています。

### 多様な働き方を支える制度

ニチバンでは、多様な働き方を推進する取り組みの一環として、2015年10月より「地域選択正社員制度」をスタートしました。育児や介護、配偶者の転勤などのライフイベントを理由に異動が困難、または希望する社員が、本制度を利用して勤務地域を選択することにより、安心して働き続けることができるようになりました。他にも、配偶者同僚やライフイベント等の理由でやむを得ず退職する社員に復職の機会を提供する「ウェルカムバック制度」、子育てや家族の介護のための休暇・休職制度、社会貢献活動のための「ボランティア休暇」などを設けています。

#### ボランティア休暇取得者の声

##### 知的障害のある方たちに学びました

工業品営業統括部 東日本営業部1課 高橋 賢弘(写真左前)



さを理解しました。我々への期待も大きく、依頼事も予想以上に多かったです。最初は不安を感じていましたが、選手の個性と向き合い方を理解することで心の距離も縮まり、後日「サポートの人と仲良くなった」との選手の声を受け、とても嬉しく思いました。今回のボランティアを通じて、日々の生活の中で「大切なこと・必要なこと」が何か、改めて気づかされました。

#### 休暇等の取得率

年次有給休暇取得率 38.4%

離職率 1.4%

介護休暇・休職制度利用人数

7名

育児休暇・休職制度利用人数

19名

育児休職からの復帰率

100%

### 雇用環境の整備

ニチバンでは、2015年7月に東京労働局長より基準適合一般事業主として認定を受け、「次世代認定マーク」(愛称くるみん)を取得しました。2012年に引き続き、2度目の取得となります。

当社は、社員が仕事と家庭生活を両立し、その能力を十分に発揮できるよう雇用環境の整備を行い、社員と会社双方の成長につながるよう支援していきます。



次世代認定マーク「くるみん」

#### 行動計画目標と達成状況(期間:2012年4月1日~2015年3月31日)

目 標	達成状況
育児関連制度の充実による働きやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>育児短時間制度の取得対象者を「小学校就学前」から「小学校3年生まで」の子を持つ親に拡充</li> <li>失効年休積立制度の利用目的に「慣らし保育期間のための利用」を追加</li> <li>失効年休積立制度の啓蒙により男性の育児休職制度の利用促進活動を実施</li> </ul>
所定外労働時間削減、年休取得促進への施策推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>月2回の定期帰宅推進日の実施</li> <li>在社時間、時間外労働のデータを社内インターネット上に公開、事業所での改善活動を促進</li> <li>労働時間削減につなげる活動を実施</li> <li>年休取得日数1日未満の者に対するメール通知による取得促進啓蒙を実施</li> </ul>
若年者に対するインターンシップ等の就業体験機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>本社開発・研究部門においてインターンシップを毎年実施</li> </ul>

### グローバル人財育成

ニチバンでは、グローバル人財育成の一環として、「海外における仕事経験の場」を提供するために「海外展示会派遣」を実施しています。全社公募から選ばれた2015年度派遣者は、国内業務で培った「製品・技術・販売の専門知識」と、自己学習で身につけた「語学力」を活かし、接客や製品説明を行いました。2016年度も継続して派遣を予定しています。今後もより多くの社員が、グローバルビジネスに必要な能力を身につけることができるよう、さまざまな施策を検討していきます。

#### 海外展示会派遣者の声

テープ事業本部 テープ特販営業部 柳谷 梢(写真右)



フルード開催された「paper world 2015」で世界中のお客様とお話をしたことで、会社のこと、製品のことよりも大切に思うようになりました。それこそが、今後の自身の業務に活かせる収穫のひとつであったと感じています。展示会への派遣は海外向け営業のほんの一端に過ぎませんが、グローバルビジネスを身近に見聞することができました。文化の異なる場所で、物怖じせずに力をひょいと超えられるスキルと素質、バイタリティの必要性と大切さを感じました。

### 物怖じせず対処する必要がありました

3つの相談窓口 ニチバングループには3つの相談窓口があり、社員がかかえるさまざまな問題に対応できるようにしています。

#### ハラスメント相談窓口

ハラスメント被害に関する内容全般についての相談を受け付けており、本社総法務人事部をはじめとする7カ所に責任者と相談員を配置しています。

#### こことからだの健康相談

健康面や業務上の問題だけではなく、育児や介護などの家庭内の相談にも対応できるようにしています。電話窓口のほか、いつでも相談できるようにWebによる相談サービスも行っています。

#### 倫理違反相談窓口

業務上のさまざまな問題の通報窓口として、相談窓口を設置しています。内部には監査役、総法務人事部長、外部には顧問弁護士の相談窓口があり、相談内容によって選択できる仕組みになっています。

さまざまな活動を通じて  
ステークホルダーの皆さまとの絆を深めます。

### スポーツ支援の取り組み

ニチバングループでは、国内最大規模の小学生向けバスケットボール教室「ニチバン Presents. バスケキッズフェスティバル」のオフィシャルメインパートナーとして、その活動をサポートしています。全国各地で開催されるイベント会場で、保護者・指導者向けのテーピング講座を実施するなど応急処置やテーピングの啓蒙を行うとともに、子供たちのスポーツ活動を支援していきます。



バスケキッズフェスティバルイベント会場でのテーピング講座

### 周辺地域との共同防災訓練

ニチバングループでは、工場火災や地震災害などの緊急事態に備え、周辺地域との共同防災訓練を定期的に実施しています。2015年度も各拠点地域で地震や火災、危険物漏洩を想定した訓練を実施しました。また、新入社員や異動者に対しては、初期消火訓練として実際に消火器で消火する訓練も実施しています。



埼玉工場 ニチバンプリント（株）

### 工場見学の受け入れ

ニチバングループでは、地域社会との関係強化のため、主に近隣の小学校・中学校を対象に工場見学を実施しています。安城工場では「セロテープ®」、ニチバンメディカル（株）では「ケアリーヴ™」の製造工程を見学いただきながら、品質管理や環境負荷低減の取り組みについて紹介しています。

今後も工場見学を継続して、より多くの皆さんに当社グループを理解いただきたいと考えています。



安城工場 ニチバンメディカル（株）

### 工場周辺の清掃活動

ニチバングループでは、地域貢献の一環として、地域の清掃活動などに積極的に参加しています。大阪工場では年2回、工場周辺の道路や側溝などを清掃する活動に参加しています。ニチバンテクノ（株）でも、町内会の清掃活動に参加しています。



大阪工場

ニチバンテクノ（株）

### 株主・投資家への情報公開

株主の皆さまとのコミュニケーションを図るため、ニチバングループでは事業活動を取りまとめた報告書を定期的に発行しています。また、株主優待制度として、1,000株以上保有いただいている株主さまに、当社新製品を中心とした「製品詰め合わせ」3,000円相当を年1回進呈しています。機関投資家や証券アナリストの皆さまには、個別取材に隨時対応するとともに、決算説明会を年2回開催しています。その他にもホームページやIRニュースのメール配信を通して、適時適切なIR情報の提供に努めています。



株主優待品 贈呈内容の例

決算説明会

### 土地・物資提供による被災者支援

東日本大震災の復興支援として、福島県いわき市に保有している工場用地を、被災者の方々の仮設住宅用地として、2011年6月より福島県に無償貸与しています。また仮設住宅に入居されている方々へのお見舞いとして、当社製品および大塚グループ製品の詰め合わせを進呈しました。



工場用地と仮設住宅

## 巻心を集めて地球環境を守る ニチバン巻心ECOプロジェクト

ニチバン製品の多くは粘着テープで、形状を保つために巻心に巻き付けられています。このため、テープを使い切ると必ず巻心が残り、残った巻心はゴミとして捨てられてしまいます。この巻心をゴミにしないために、ニチバンが2010年から始めたのが「巻心ECOプロジェクト」です。各種使用済み粘着テープの巻心を回収し、資源として再利用するとともに、リサイクルで生じる利益金と当社からの支援金でフィリピンでのマングローブ植樹を支援しています。

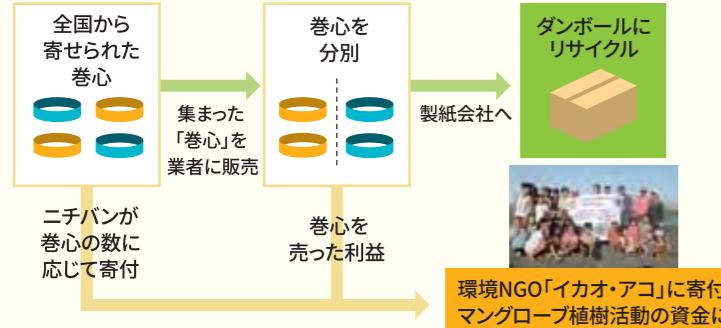
第6回では、48万個にのぼる巻心を回収することができま

した。プロジェクト開始から2017年3月までに支援したマングローブ植樹は累計14万本を超えます。

また、本プロジェクトを環境教育という観点から授業に取り入れてくださる学校の参加もあります。2015年度は参加いたいた小学校11校で、社員が講師を務める出前授業を実施しました。セロテープ®を題材に、リサイクル活動の重要性や環境問題について授業を行い、児童たちと一緒に考えました。

今後も、多くの皆さんに参加いただける環境保護活動の支援を推進していきます。

**「ニチバン巻心ECOプロジェクト」とは**  
使用済みの粘着テープの巻心を回収し、資源として再利用する環境活動です。



### 第6回ニチバン巻心ECOプロジェクト 結果概要

期間: 2015年11月1日～2016年1月29日  
回収対象: 完全に使い切った各種粘着テープの紙製の巻心（メーカー問わず）  
回収した巻心数: 484,534個  
参加数: 794団体（学校、企業、病院など）、個人272名  
寄付: リサイクルによる利益金及び当社からの支援金を  
環境NGO『イカオ・アコ』（代表: 後藤 順久）に寄付  
環境NGO『イカオ・アコ』に寄付  
マングローブ植樹活動の資金に



集めた巻心の一部

2016年5月に今年度1回目、約1400本の植樹をフィリピン・西ネグロス州ビクトリアスにて、地元の小学生と一緒に行いました。

### 参加状況と巻心回収実績

回数	団体参加（団体）	個人参加（人）	巻心回収数（個）	巻心重量（kg）
第1回 2010年	580	1,031	74,522	930
第2回 2011年	958	1,183	195,139	3,264
第3回 2012年	1,172	589	452,480	5,122
第4回 2013年	778	829	434,079	4,611
第5回 2014年	710	997	493,319	5,978
第6回 2015年	794	272	484,534	5,582
合計	4,992	4,901	2,134,073	25,487

### 講師を務めた社員

オフィスホーム営業統括部  
大阪支店 文具課  
長谷川 達也



学生時代、国際協力への関心から、ラオスに小学校を建てる活動に携わり、募金集めやビラ配りをしていました。出前授業に参加してくれた子どもたちが、当時大学生だった私たちと同じように、率先して考えながら取り組む姿には驚きと感動を感じました。

「仕事=誰かの役に立つこと」と考えている私にとって、出前授業を通して誰かの役に立つ喜びを子どもたちと共有できたことは、とてもよい経験になりました。



和歌山市立貴志小学校では手作りのポスターや回収BOXを作成呼びかけました。

## 経営の質・中身の向上に取り組み、 社会に対する責任を果たします。

### コーポレート・ガバナンスと内部統制

ニチバンではコーポレート・ガバナンスを有効に機能させるために、東京証券取引所が規定する独立役員を置くとともに、内部統制システムを整備し、経営の健全性および効率性の向上を図っています。

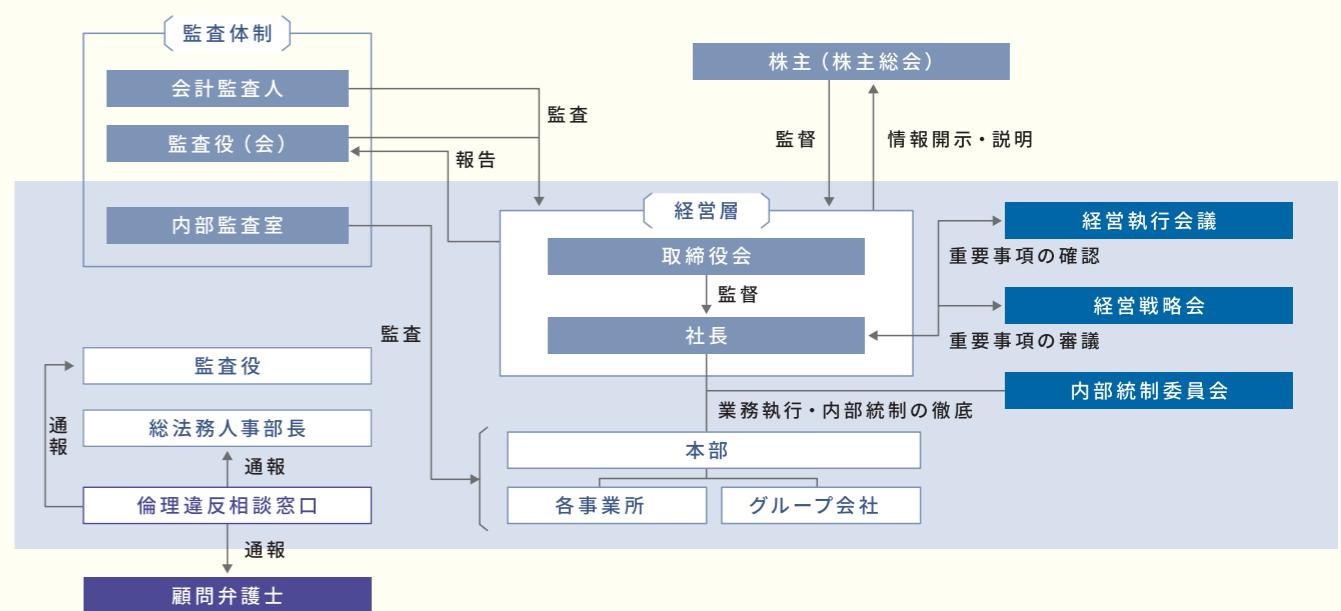
取締役の職務執行が効率的に行われることを確保するための体制として、月1回の取締役会に加え、経営活動の迅速化と効率化を推進するため、社長を議長とする経営戦略会を月2回開催しています。さらに取締役会の機能をより強化するために、全執行役員が出席する経営執行会議を月1回開催し、業務執行に関する基本的な事項および重要事項の確認を行っています。取締役会は社外取締役2名を含む8名で構成されており、取締役の任期を1年とすることで、毎事業年度の経営責任および執行責任を明確にしています。

監査役による監査が実効的に行われることを確保するための体制としては、社外監査役2名を含む監査役会が、重要な会議体へ出席して経営状態・意思決定プロセスについて

常に把握とともに、内部監査に関わる状況とその監査結果の報告を受けるなど内部監査室と緊密な連携を保ち、さらに会計監査人と隨時連携して情報交換をしながら監査にあたることとしています。

また、取締役および使用人の職務執行が法令および定款に適合することを確保するための体制として、社長を委員長とする内部統制委員会を設置し、内部統制システムの整備、運用状況の確認等、必要な措置をとっています。さらに、社内担当者・監査役会議長および社外の顧問弁護士を直接の窓口とする「ニチバングループ倫理違反相談窓口」を設置し、通報者を保護しつつ透明性を維持して、的確に相談・通報案件に対処する体制を当社グループ全体で構築しています。法令・定款のみならず、「ニチバンの倫理」「コンプライアンス規則」等の社内規程の遵守を図り、その違反、またはそのおそれのある事実の早期発見に努めています。

### ニチバン内部統制システム



## 省エネルギーへの取り組みをはじめ 環境面の配慮に努めています。

### ニチバングループ環境方針

ニチバングループでは、日々の業務において生産性の向上に取り組むことが、環境保全につながると考えています。環境方針のもと、ISO14001を基本として環境マネジメントに取り組み、継続的な改善を目指しています。生産工程では有機溶剤を使用しているため、生産拠点周辺の皆さまの環境に十分配慮して管理を徹底するとともに、脱溶剤化に向けた取り組みを推進しています。

### 省エネルギー 工場・オフィスの取り組み

ニチバングループでは、環境負荷低減のためにCO<sub>2</sub>排出量や消費電力の削減に向け、空調管理の徹底や、オフィスや工場内のさまざまな場所で使用される照明器具のLED化を順次進めています。

埼玉工場では、2016年7月から生産現場の空調機にデマンド制御を導入し、工場の使用電力量に合わせ、電力のピークカットを行っています。

技術センターでは、2016年に照明器具のLED化とあわせて常時点灯の必要がない場所に人感センサーを設置し、スイッチの切り忘れなどによる電力の無駄を省くよう、省電力に取り組んでいます。



環境負荷低減活動につきましては、当社ホームページで詳しくご紹介しています。 <http://www.nichiban.co.jp/csr/environment/index.html>

### ニチバングループ環境方針

ニチバンは人と物および地球環境にやさしい技術を通して、製品の全ライフサイクル [開発・製造・流通・使用・廃棄] にわたり 安全と健康と環境面の配慮に努める

### 化学物質の管理

ニチバングループではさまざまな化学物質を使用しています。これらの化学物質は、管理された状態ではとても有益な物質ですが、使用方法や保管方法を誤ると人や環境に大きな影響を与える恐れがあります。社内で化学物質を安全に利用するため、そしてお客様に安心して製品をご利用いただけるよう、自社グリーン調達基準に基づき、原材料に含まれる化学物質の調査を行い、より安全な材料への切り替えや適正な管理に努めています。

### 廃棄物の削減

ニチバングループでは、2012年にゼロエミッションを達成して以来、サーマルリサイクルを含めた廃棄物処理業者によるリサイクルの実施により、廃棄物の99%以上をリサイクルするゼロエミッションを維持しています。

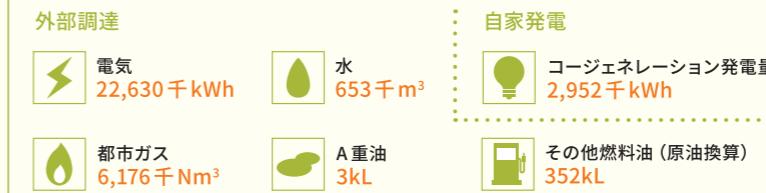
### ✓ 環境目標と実績 対象範囲：本社、埼玉事業所、安城事業所、大阪工場、グループ会社3社

課題	2015年度実績	評価
生産性・業務効率向上 (CO <sub>2</sub> 排出量前年度比1%削減)	<生産性・業務効率向上> セロテープ®製造ラインをはじめ、各主要製品の生産工程増速による稼働率アップにより、生産性の向上を図りました。 <CO <sub>2</sub> 排出量> 生産数量の増加により排出量は昨年度比で6.8%増加しました。	△
環境をはじめとする関連法規制等遵守のための組織的取り組み強化	各生産事業所を巡回して環境関連法規制遵守状況の確認を行うとともに、内部監査にて法規制遵守における生産事業所間のクロス監査を実施し、環境法令などの遵守状況をチェックする仕組みを強化しました。	○
脱溶剤、減溶剤の推進	脱溶剤においては各生産事業所にて製造工程の見直しによる溶剤使用量の削減、脱溶剤においては溶剤を使わない製造方法の製品設計の実現に向け進めています。	△

○：できました！より一層頑張ります △：もうひといき！もっと頑張ります

### ■ 資源とエネルギーの使用・排出量 対象範囲：本社、埼玉工場、安城工場、大阪工場、グループ会社3社

#### INPUT 総エネルギー使用量 545,219GJ



#### OUTPUT



### ■ 土壌・地下水検査結果報告

ニチバン安城工場では、同事業所敷地内への工場棟新設ならびに研修棟・研究所棟解体にあたり、土壤・地下水の自主調査を進めたところ、一部基準値超過が判明しました。今般、調査結果をとりまとめ、2016年3月28日、愛知県に報告しています。

#### 【調査概要】

- 調査場所 : 安城市二本木新町三丁目1番2ほか12筆
- 調査方法 : 愛知県「県民の生活環境の保全等に関する条例」並びに「土壤汚染対策法」に基づき自主調査を実施
- 調査対象面積 : 26,047 m<sup>2</sup>
- 調査物質 : 土壤汚染対策法 第一種特定有害物質(揮発性有機化合物)、および第二種特定有害物質(重金属等)
- 調査期間 : 2015年7月～2016年3月

#### 【調査結果】

##### ■ 土壌

	汚染物質	基準を超えた濃度範囲	基準に対する倍率	指定基準	検出深度	基準超数 / 調査数
土壤溶出量	砒素及びその化合物	0.021～0.073 mg/L	2.1～7.3倍	0.01mg/L	0～0.5m	3/288
	ふつ素及びその化合物	0.83～0.96 mg/L	1.03～1.2倍	0.8mg/L	0～0.75m	6/288
土壤含有量	砒素及びその化合物	450～500 mg/kg	3～3.3倍	150mg/kg	0～0.5m	3/288

新工場建設予定地である当該地の土壤調査(一次調査)を2015年7月から実施した結果、土壤溶出量調査(注1)および土壤含有量調査(注2)において表層土壤から指定基準を超える砒素およびふつ素を検出しました。

(注1) 土壤溶出量調査：地下水を経由して人の健康に影響を及ぼすリスクの観点から、採取した土壤に水を加えた場合に溶出してくる有害物質の量を測定する調査。

(注2) 土壤含有量調査：特定有害物質を含む土壤の直接摂取によるリスクの観点から、採取した土壤に含まれる、体内において溶け出しうる有害物質の量を測定する調査。

■地下水中水：地下水からは指定基準を上回る砒素、ふつ素は検出されませんでした。

#### 【汚染原因物質の使用履歴等】

汚染が判明した区画での有害物質の使用履歴はないため、原因は不明です。

#### 【周辺地域への影響と対策】

汚染が判明した場所はアスファルト舗装で覆われており、汚染土壤の飛散や雨水等による汚染の拡散のおそれはありません。

汚染土壤は掘削除去を行い、2016年5月に再アスファルト舗装を含め工事が完了しています。残りの汚染土壤も研究所解体後、速やかに掘削除去を実施しています。

# ニチバン株式会社

〒112-8663 東京都文京区関口二丁目3番3号  
TEL. 03-5978-5601 FAX. 03-5978-5620

ご意見・ご質問は、下記までお願ひいたします。

## 経営企画本部 広報宣伝室

〒112-8663 東京都文京区関口二丁目3番3号  
TEL. 03-6386-7190 FAX. 03-6386-7191

●®は登録商標、TMは商標です。

[www.nichiban.co.jp](http://www.nichiban.co.jp)

本報告書は、「FSC®森林認証紙」、「ベジタブルオイルインキ」を使用し、VOC削減効果の高い「水なし印刷」で印刷しました。

